

私ども社会福祉法人藹藹会は、平成12年に栃木県宇都宮市西部に身体障害者療護施設を開設いたしました。これまで措置制度から支援費制度そして障害者総合支援法と、改正に対応しながら運営してまいりました。現在、障害者支援施設ハートフィールド定員55名（入所支援・生活介護）をはじめ、相談支援事業所、放課後等デイサービス、共同生活援助などの福祉サービス、その他児童福祉施設、小規模保育事業所など7事業所を運営しております。

今春には、就労継続支援B型事業所を開設することとなりました。この事業所は、既存の放課後等デイサービスと就労支援B型の多機能型施設として、主に身体に障がいがある児童に対して、将来の選択肢を増やし社会の一員として生活できるサポートをしていけることをコンセプトにしています。

就労支援では車椅子でできる農作業を準備している他、主力となる園芸用土の袋詰め作業は、身障者用の袋詰め機を近隣大学の教授と共同開発中です。今後、地元企業や農家さんの協力を得ながら農福連携を実践し、地域に根差した施設づくりを目指していきます。

今回、支部役員となられた事業所様・業者様のご尽力により全国介護事業者連盟障害福祉事業部会栃木県支部が設立されました。3月3日には栃木県支部の同時設立総会を行い、斉藤理事長・中川会長を講師に迎えセミナーを開催することとなりました。

現在までの活動としては、令和4年10月、栃木県保健福祉部に物価高騰の対策要望書を提出しました。また、令和4年11月には、宇都宮市長を表敬訪問し、支部設立の趣意説明と報告をしています。

障害福祉分野では介護分野と同様に、3年ごとの報酬改定に伴う書類負担・手続き負担が増加しています。また、人手不足も深刻な問題となっております。

栃木県支部として、県内の会員を増やしていくことが重要な課題と考えております。

今後、全国介護事業者連盟の活動を通じて障害福祉に関する問題解決に取り組んでまいります。何卒ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

樋口 文男（ひぐち ふみお）

社会福祉法人藹藹会 理事

障害者支援施設ハートフィールド 副施設長

一般社団法人全国介護事業者連盟 障害福祉部会 栃木県支部 支部長

◆「栃木県支部・障害福祉事業部会 栃木県支部 合同設立総会セミナー」を開催いたします（2023年3月3日）

<http://kaiziren.or.jp/event/request/2022/tochigi20230303/>

◆外国人材活用の制度見直しについて～無料オンラインセミナー～

主 催：株式会社EMシステムズ

日 時：3月23日（木）16:00～17:00

講 師：一般社団法人全国介護事業者連盟 理事長 斉藤正行

お申し込みはこちらからお願いいたします

https://zoom.us/webinar/register/7316763612103/WN_eEYJA-BmSS07QvwwzZCgoA

◆LIFEの今後とその実践例「2024年の介護報酬改定はどうなるのか？」【無料セミナー】

主 催：芙蓉開発株式会社

日時：3月15日（水）16：00～18：00

講師：一般社団法人全国介護事業者連盟 理事長 斉藤正行

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScr-N_y16ulz3BDuN65-iv-3T-MWsPCS70BBVN1KLZAgOF3GA/viewform

◆日本デイサービス協会が選ぶ、2023年デイサービス5選 発表 ※ついに5選が決まる！！

日時：3月15日（水）18：30～20：00

事前観戦登録はこちらからお願いいたします

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_u3cpYS_zQoSH4-wtFmiAZw

◆全国介護事業者連盟公式チャンネル 介護チャンネル

24年介護・障害報酬改定 改定率はどうなる プラス改定？マイナス改定？

<https://www.youtube.com/watch?v=TzHezgomT0w>

全国介護事業者連盟 全国大会 in 東京 2023 開催決定！

<https://www.youtube.com/watch?v=otdQGClKz8c>

令和4年度調査 介護事業収支差率の最新データが公表 0.9%の悪化

<https://www.youtube.com/watch?v=rIJn0je6qwk>

規制改革推進会議の提言 障害福祉分野の書類削減に向けて

<https://www.youtube.com/watch?v=BjWgDYOsMKE>

コロナ禍収束へ 5月8日で5類に引き下げ 介護・障害福祉現場の影響を解説

<https://www.youtube.com/watch?v=uvpwQcSQCbY>

【全国介護事業者連盟動向】

- 2月13日 厚生労働省『都市部、離島や中山間地域などにおける令和3年度介護報酬改定等による措置の検証、地域の実状に応じた必要な方策、サービス提供のあり方の検討に関する調査研究事業』第2回調査検討委員会に理事長が出席（東京都）
- 2月15日 九州支部・福岡県支部・熊本県支部・鹿児島県支部、障害福祉事業部会 福岡県支部・鹿児島支部幹事会の開催（オンライン）
- 2月15日 第9回障害福祉事業部会 役員会の開催（東京都 オンライン）
- 2月16日 愛媛県支部設立総会の開催（愛媛県 オンライン）
- 2月16日 石川県支部幹事会の開催（石川県 オンライン）
- 2月17日 四国支部・愛媛県支部・徳島県支部・香川県支部幹事会の開催（オンライン）
- 2月17日 一般社団法人日本在宅介護協会との意見交換（東京都）
- 2月20日 第5回 居宅介護支援・福祉用具貸与在り方委員会の開催（東京都 オンライン）
- 2月21日 宮城県老人福祉施設協議会との意見交換（宮城県）
- 2月21日 厚生労働省『通所介護・地域密着型通所介護・認知症対応型通所介護における効果的な機能訓練のあり方に関する調査研究事業』第4回検討委員会に理事長が出席（東京都）
- 2月21日 栃木県支部・障害福祉事業部会 栃木県支部幹事会の開催（オンライン）
- 2月22日 『科学的介護の推進に関する要望事項』を厚生労働省老健局 老人保健課に提出（東京都）

- 2月22日 障害福祉事業部会 鹿児島県支部設立総会・鹿児島県支部 年次総会の開催（鹿児島県 オンライン）
- 2月23日 青森県支部幹事会の開催（オンライン）
- 2月24日 厚生労働省『障害児通所支援に関する検討会』第10回検討委員会に障害福祉事業部会 中川 亮 会長が出席（オンライン）

■ 厚生労働省ニュース/内閣府ニュース

第106回社会保障審議会介護保険部会資料

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_31263.html

科学的介護情報システム（LIFE）の新規提案項目募集について

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000198094_00037.html

社会保障審議会障害者部会（第135回）

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000195428_00062.html

2023年1月23日 社会保障審議会障害者部会（第134回）議事録

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000192817_00056.html

第214回社会保障審議会介護給付費分科会（web会議）資料

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/1?p=I8dTi2bppAKTZBexY>

財政制度分科会（令和5年2月17日開催）資料一覧

https://www.mof.go.jp/about_mof/councils/fiscal_system_council/sub-of_fiscal_system/proceedings/material/zaiseia20230217/01.pdf

第19回医療介護総合確保促進会議

https://www.mhlw.go.jp/stf/index_00035.html

2021年度（令和3年度）通所介護の経営状況について

https://www.wam.go.jp/hp/wp-content/uploads/230119_No008.pdf

■ 介護・障害福祉ニュース

障害者スポーツフォーラム 東京パラ金メダリスト木村選手らが意見交換

<https://www.fukushishimbun.co.jp/topics/29302>

通所介護の約半数が赤字 「危機的状況」 「介護提供体制が崩壊する」の声＝社保審・介護給付費分科会

<https://www.joint-kaigo.com/articles/6807/>

介護経営概況調査 報酬改定後の収支差率0.9pt減

<https://www.care-news.jp/news/oxbop>

介護事業所の申請・届出は新システムで 厚労省、各サービスの運営基準を改正 2024年度から適用
<https://www.joint-kaigo.com/articles/6790/>

ポスト2025年の医療・介護、柱に「相談できる専門職の確保」 ケアマネの待遇改善も明記 厚労省
<https://www.joint-kaigo.com/articles/6763/>

厚労省、介護事業者の協働化・大規模化を推進 事業計画の指針に明記
<https://www.joint-kaigo.com/articles/6728/>

【通所介護】コロナ特例の3%加算、来年度も継続 厚労省通知 規模区分の特例も
<https://www.joint-kaigo.com/articles/6689/>

通所介護、事業所数が飽和状態？ 経営悪化で赤字事業所が増加=WAM調査
<https://www.joint-kaigo.com/articles/6669/>

介護職、3月13日以降も「勤務中のマスク着用を推奨」 政府方針
<https://www.joint-kaigo.com/articles/6600/>

処遇改善加算の一本化 職員が改善の実感持てる加算に
https://www.koureisha-jutaku.com/newspaper/synthesis/2023010411_19_2/



■ 編集後記

網タイツ姿での勤務も可能 「服装完全自由」を掲げる施設の事情とは

ある介護事業所は、勤務時の服装が自由です。制服が無い事業所は珍しくありませんが「利用者の身体を傷つける金属部品のついた服は禁止」などの規定はあります。しかし、ここは完全に自由で、過去には網タイツのスタッフもいたそうです。

「制服で事業所に独自の『色』を出す考えは理解できるが、その色が気に入らない人は必ずいる。それで他の仕事や事業所に人が流れることは避けたい」と経営者は語ります。

経営者がスタッフに求めるのは「その服装をすることで自身や会社にふりかかるリスクを考える」こと。

「それを受容できるなら自己の判断・責任で行う」という意識付けを行っています。

他人の命を預かるという業務の特性上、介護事業所はどうしても「〇〇禁止」が多くなりますが、可能なところはもっとスタッフの自主性・判断を尊重してもいいのではないのでしょうか。

ちなみに、これまでに利用者や家族からスタッフの服装に関する苦情は1件もないそうです。

【配信元】一般社団法人全国介護事業者連盟 <http://kaiziren.or.jp/>

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-1-4 西脇ビル4階

TEL：03-5215-5063 FAX：03-5215-5064

掲載内容の無断転載・再配布は固く禁じます。

配信不要の方はこちらにご連絡ください

info@kaiziren.or.jp